

学習の基盤となる資質・能力としての 問題発見・解決能力の育成

1 特集について

現代社会は、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、急速に変化し予測困難な時代となっています。このような時代において、子供たちが様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことが求められています。また、課題を見だし、主体的に考え、多様な立場の者が協働的に議論し、納得解を生み出すために不可欠な問題発見・解決能力の育成が求められています。

問題発見・解決能力は、言語能力、情報活用能力とともに学習の基盤となる資質・能力として示されています。これらの能力を育成していくことができるよう、各学校において、児童・生徒の発達の段階を考慮するとともに、各教科等の性質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図るものとされています。

そこで、本特集では、学習の基盤となる資質・能力としての問題発見・解決能力を育成するプロセス及びポイントを紹介します。

2 紙面の活用について

問題発見・解決能力を育成するプロセスについて理解を深めることができます。



問題発見・解決能力を育成するポイントについて確認することができます。

もっと詳しく知りたい

<二次元コード（読み取り or クリック）から、
本特集の解説動画が視聴可能>





Webアンケートはこちらを
読み取り or クリック

学習の基盤となる資質・能力としての問題発見・解決能力の育成



詳しい解説はこちらを
読み取り or クリック

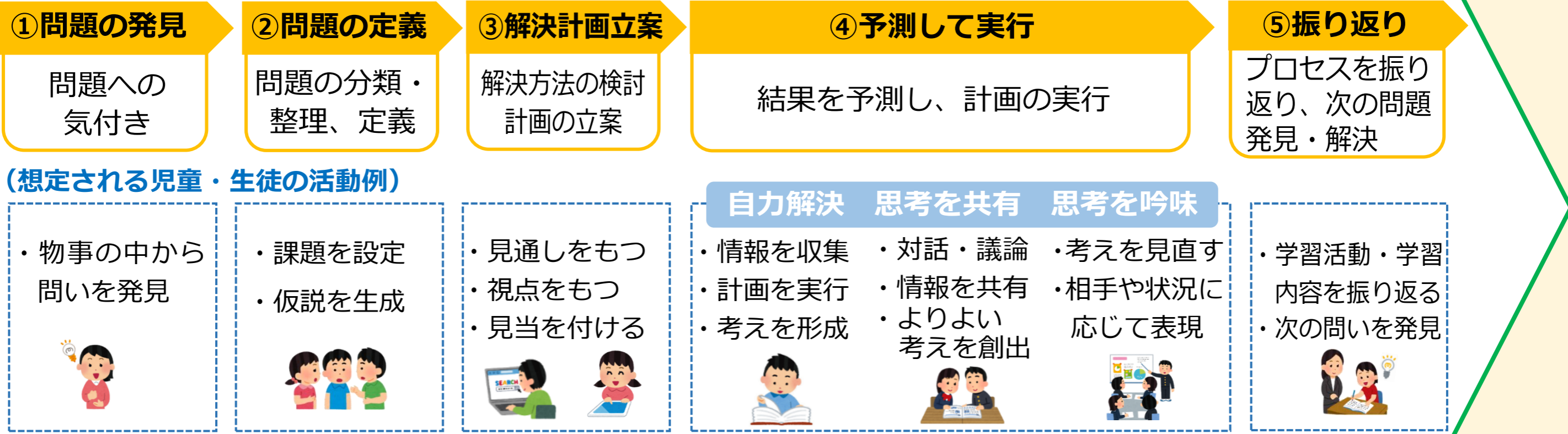
現代社会は、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により急速に変化し予測が困難な時代となっています。このような時代においては、答えのない問いに立ち向かい、目の前の事象から解決すべき課題を見だし、主体的に考え、多様な立場の者が協働的に議論し、納得解を生み出すために不可欠な問題発見・解決能力の育成が求められます。本特集では、問題発見・解決能力を育成するプロセス及びポイントを紹介します。

問題発見・解決能力

教科等の特質に応じて、**問題発見・解決能力を育成するプロセス**を重視した深い学びの実現を図ることを通じて、各教科等のそれぞれの分野における問題の発見・解決に必要な力の育成を図る。



問題発見・解決能力を育成するプロセス



深い学びの実現

身に付けた力を
統合的に活用

各教科等における問題の発見・解決に必要な力を育成

総合的な学習の時間における**横断的・総合的な探究課題**や、特別活動における**集団や自己の生活上の課題**に取り組むことなどを通じて、各教科等で身に付けた力が**統合的に活用**できるようにすることが重要

問題発見・解決能力を育成するポイント

ポイント1

プロセス（学習過程）の設定

ポイント2

プロセス（学習過程）の中で思考力、判断力、表現力等を育成

ポイント3

多様な人々と協働しながら問題を解決

参考文献 ○ 小学校及び中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編及び総合的な学習の時間編（平成29年7月 文部科学省） ○ 国研ライブラリー 資質・能力[理論編]（平成28年1月 国立教育政策研究所）
○ 資質・能力を育成する教育課程の在り方に関する研究報告書1（平成27年3月 国立教育政策研究所 教育課程研究センター） ○ 初等教育資料（令和2年12月号 文部科学省）